



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

奉仕の心で未来を築こう



2009-2010年度
R.I.会長よりのメッセージ

第918回例会 2010年2月3日 No.890号

■ 会長時間



会長 井林 孝二

会員の皆様、こんにちは。お客様にはようこそお越しくございました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。

2月は世界理解月間ということで、それにちなんだ話になればと思い元東京大学学長の茅先生のお話から引用させていただきます。

茅先生が手掛けられた研究の中に、パーマロイという合金の研究がありました。このパーマロイは、鉄とニッケルの合金で一旦高熱に熱した後、徐々に温度を下げてゆく

と、ちょうど690度になった時に必ず特性の変化をし、耐磁性の特別な性質を身につけるそうです。この特性の為、パーマロイは、海底電線の材料として珍重されているそうです。先生は、この特性を突き止める研究をされました。ところが、千数百度から690度まで徐々に温度を下げるには、今から50年以上前の話ですから、およそ3昼夜かかったそうです。研究ですから3昼夜、一刻の休みもなく顕微鏡をのぞいて刻々の変化を最大もろさず記録しなければなりません。先生も3昼夜の不眠不休はなんとか絶えるとしても食事が困ります。長い巻きを作ってもらい、これをかじりながら観測を続けたそうです。研究の成果ですが、合金がちょうど690度まで下がった時に、突如として、その合金は分子配列に変化をおこし、それまで不規則に入り乱れていた鉄とニッケルの分子が規則正しく、鉄の隣にニッケル、その隣に鉄というようにきれいに並びはじめるそうです。このことで、独特の耐磁性が生ずるようになるという事です。このような研究も今は、コンピューター制御のできるので3日3晩徹夜の必要はないようです。ひらがえってコンピューター化が医師の診察にも可能となればすべての診断も薬の処方もコンピューターでできるようになるでしょう。こうなれば医師の仕事は必要でなくなります、現実にはそうならないでしょう。なぜなら、人間対人間、心対心の関係までコンピューターにやらせる事は不可能だからです。いやしくも、人間のすることで愛がなくて出来る事はひとつもないと思います。逆に言うならばいやしくも愛が欠けるならば人間の行いもほとんど無価値となるでしょう。

最後に作曲家、オスカー・ハマースタインの詩から引用させていただきます。

『ベルは君がそれを鳴らすまではベルではない。歌は君がそれを歌うまでは歌ではない。君の心の中の愛は、そこにそのままおいておくために授けられたものではない。愛は君がそのすべてを捧げるまで愛ではないのだ。』

今日は世界理解月間についてお話をさせていただきました。

今回の例会(2月10日)

会員卓話

石川 貴与和 会員 瀬川 長良 会員

次回の例会(2月17日)

ゲスト卓話

広島東ロータリークラブ 直前会長
鷺野 俊雄 様

出席報告

(山田例会運営委員)

2月3(水)出席者

会員総数	43名
出席会員	37名
欠席会員	6名
ご来賓	0名
ご来客	5名
ゲスト	1名

来客者紹介

(高野親睦家族委員)

2月3(水)出席者

広島南RC	2名
広島北RC	1名
広島西南RC	1名
広島城南RC	1名

幹事報告(川中幹事)

■お知らせ

- 2月13日(土)に開催をされますインターシティ・ミーティングのプログラムを配布しておりますので、ご確認ください。(於: ANAクラウンプラザホテル広島 13:30~)
- 毎月第3例会はバイキングとなっておりますが、2月第3例会は会場の都合により中華となりますので、お知らせを致します。
- 2010-2011年度版ロータリー手帳のご案内が届いております。回覧致しますので、必要な方は丸印を付けて下さい。

■BOX配布物

- ガバナー月信とロータリーの友(2月)を配布しておりますので、お持ち帰りください。
- 来る2月20日から23日にかけて開催されます「APECジュニア会議in広島2010」のポスターを配布しておりますので、お持ち帰りください。
- 抜萃のつづりを配布しておりますので、ご確認ください。



.....SMILE BOX

渡部邦昭 会員

ネパールについての卓話の時間をいただき、ありがとうございます。(大枚)

当日計	30,000円	累計	528,000円
-----	---------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30~13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】井林 孝二 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】川中 敬三 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

月間卓話 (1/2)

『ネパールを理解しよう』

～ 世界理事会月間に因んで～

渡部 邦昭 会員



2009年4月15日関西空港を出発してから4月24日カトマンズを離れるまで、ネパールを旅行してきました。

旅行の日時は、妻が副会長をつとめているアーニーの会(広島大学に留学してくる医学生の活動を支援する)の活動の一環で、カトマンズにリハビリテーション病院が設立運営されることになったため、その視察のためでした。

この病院は、ある奇特な方(日本人)の寄付金を基に設立されることになったのです。この病院の名前は、アンナプルナリハビリテーションセンター病院といい、広大医学部に留学した脳神経科医バサントパント氏を中心とする方々が運営の母体となっています。



アンナプルナリハビリセンター病院 入口にて



アンナプルナリハビリセンター病院 受付内部



スタディツアー参加者とスタッフ一同



院内 待合室



院内



院内

月間卓話 (2/2)



院内



院内 医師と看護師



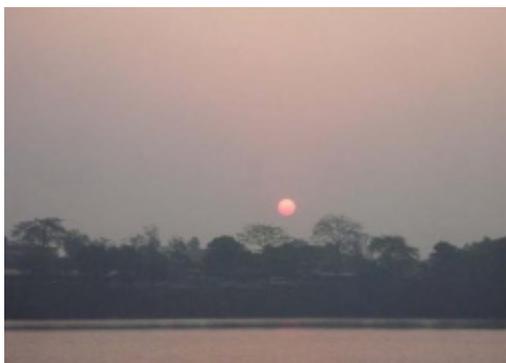
院内



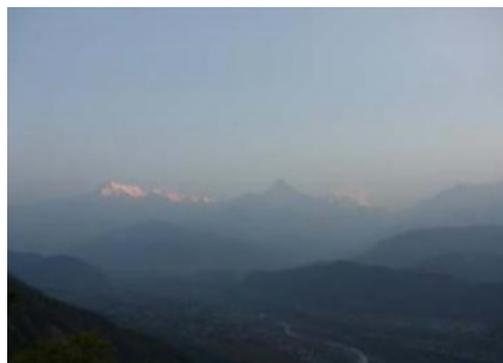
アンナプルナリハビリセンター病院 屋上

病院の運営を視察して、なんとか収支のバランスがとれているのでとりあえず安堵しました。

最後にポカラの湖(フェウレイク)からの日の出の写真と、マチャブチャレ(6893メートル)の美しい山並みの写真をみて下さい。ネパールは太陽に最も近い国のようでした。



ポカラの湖(フェウレイク)からの日の出



ポカラ サランコットの丘にて
～マチャブチャレをのぞむ～